



報道関係者 各位

～中小製造業を起点とした地域創生ビジネスモデルの実現～

**【自治体初！】 AIとソーシャルネットワークを活用した
「ものづくりコネクト」の導入支援を開始！**

大東市版ブロックチェーン構想のプラットフォームとして

大東市では、株式会社 PUBLIQ および株式会社 LIGHTz と連携し、「大東市版ブロックチェーン構想」※を実現する新たな取り組みとして、企業が連携するための情報共有ツールである「ものづくりコネクト」の導入支援を開始します。また、この取り組みはブロックチェーン構想を掲げる本市ならではの取り組みであり、自治体では初めての取り組みとなります。

※ 「大東市版ブロックチェーン構想」とは

各企業が培ってきたノウハウや人材などを結束させる仕組みのこと。市内のモノづくり企業の技術力やノウハウをプラットフォームに登録することで可視化し、各企業の強みを共有することで、新たな受注の創出や企業間連携を生み出す。これにより、個々の企業だけでは対応できなかった問題の解決や、より大きなビジネスチャレンジへの可能性が広がる。

【支援内容概要】

1. 開始時期 令和5年8月4日から順次開始
2. 対象 大東市内の事業者。先着35社。
3. 内容 「ものづくりコネクト」の利用(以下の①～③)を伴走型でトータルサポート
①文書管理に関するヒアリング
②整理されたデジタルデータより社内ノウハウの分析
③強みを基にした社外への情報発信
4. 費用 アカウント料・サポート料ともに**無料**。(ただし令和5年度に限る)
5. 参加方法 電話またはメールで大東市産業経済室まで。(「お問い合わせ先」参照)

【背景や目的】

大東市では、仕事をしている世代(子育て世代を含む)をターゲットとして、総合戦略において「チャレンジする人と産業の後押し」を重点分野に掲げています。しかし、2022年度の下半期地域経済景況調査報告書では、原材料価格の高止まりや価格転嫁ができていない状況が多く見られ、一企業では対応が困難な課題が多く生じています。そこで本市では、個々の企業だけでは対応できないこれらの様々な課題の解決を目的として「大東市版ブロックチェーン構想」の構築を進めています。

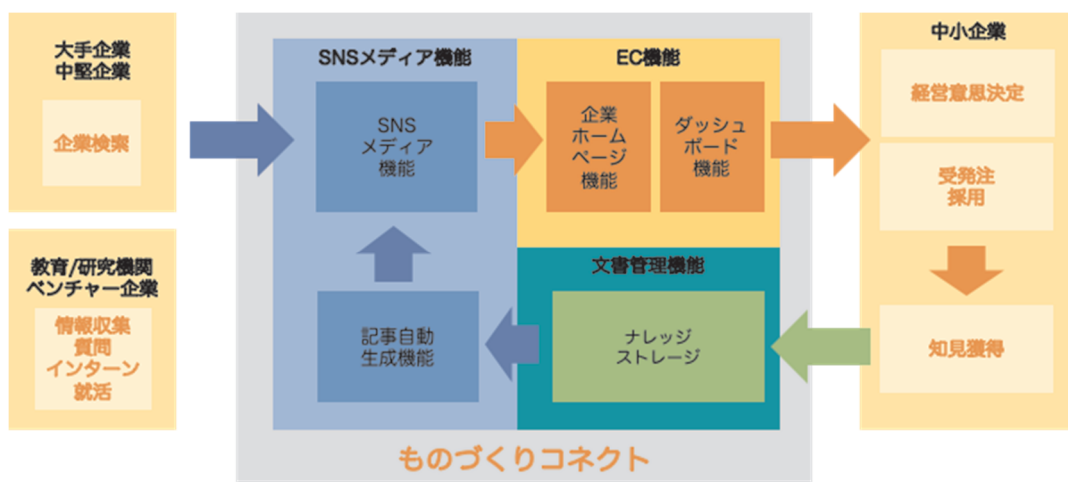
今回の取り組みは、大東市版ブロックチェーン構想のプラットフォームとして大変有効であると考え、大東市を中心とした産学官が連携し、製造業界の売上の向上、人材の確保、技術力の向上に関する課

題等の解決を目的として導入支援を開始するものであり、その効果として中小製造業を起点とした地域創生ビジネスモデルの実現を目指すものであります。

【ものづくりコネクトとは】

中小製造業にて優先的な課題とされる、売上の向上、人材の確保、技術力の向上を解決する株式会社LIGHTz が提供するサービスのことです。中小製造企業の社員および経営者が「ものづくりコネクト」を活用することで、現場の図面や帳票など、あらゆる社内情報を管理することができるようになります。具体的には、デジタル化による情報の蓄積を通じて「技術力向上」を図るとともに、AIを活用し、蓄積された情報から企業の強みを見つけ出し「発信力向上」の支援を行います。

(HP)<https://www.monocone.com>



【お問い合わせ先】 大東市 産業・文化部 産業経済室 担当:嵯峨根(さがね)
TEL 072-870-4013 FAX:072-870-9608
Mail:sangyo@city.daito.lg.jp